

子育て世代・働くひとの視点で北本を変える！
安心をすべての人に届けたい

きたもと

well-being 通信



北本市議会議員
 さくらい すぐる
桜井 卓



公式ホームページ
<http://sakuraisuguru.jp/>



第 5 号

北本市が直面している最重要課題の一つ 新ごみ処理施設建設計画に関する3つの懸念

今回のポイント

- ◎北本市の一般会計決算の 3.8% を占めるごみ処理経費
- ◎吉見町にある焼却処理施設は建替えを巡って地元住民から提訴
- ◎鴻巣行田北本環境資源組合の新しい焼却処理施設に関する3つの懸念

今回は、第4号でも少し触れた北本市のごみ処理について、少し詳しく解説します。

北本市のごみ処理の現状 ごみ処理経費は約7億3千万円

北本市の一般家庭から排出されるごみは、各家庭で分別された後、収集・運搬されて、処理されます。平成29年度のごみ処理経費は約7億3千万円で、人口1人あたりでは約1万1千円です。北本市の一般会計決算額の3.8%に当たります。決して小さな金額ではありませんが、私たちの生活に欠かせない業務ですから、ごみ処理経費を節減するにはできるだけごみを減らすしかありません。

ごみ処理に係る主な支出は次のとおりです。収集と処理それぞれに約3億円ずつ要している他、新しい焼却施設の準備資金として約1億円を積み立てています。

◆主な支出（平成29年度決算）

可燃ごみの収集	1億	1,156万円
不燃ごみ	〃	1,906万円
容器ごみ	〃	3,705万円
資源回収（収集）	1億	100万円
不燃ごみの処理		6,033万円
容器ごみ	〃	3,309万円
組合への負担金		
・埼玉中部	1億	8,221万円
・鴻巣行田北本		2,509万円
新施設準備積立金	1億	22万円

混迷する吉見町の焼却施設の建替え 地元住民が建設差し止めを求めて提訴

北本市の可燃ごみは埼玉中部環境センター（吉見町）で焼却処理されています。焼却施設は単独市町村で建設・維持管理することが難しいため、複数の市町村が組合を作り、運営するのが一般的です。埼玉中部環境保全組合は北本市と鴻巣市、吉見町で構成されています。

埼玉中部環境センターは昭和59年の稼働開始から間もなく35年が経過します。現施設を建てる際に同じ場所では建替えをしない約束（裁判による和解）を地元住民としていたこともあり、北本市は新たな焼却施設を鴻巣市・行田市と一緒に、別の場所建設することになっています（鴻巣行田北本資源循環組合）。

一方の吉見町は、桶川市や東松山市など9市町村で新たに組合を作り、焼却施設を建設する予定です。しかし、新たな焼却施設を現在の施設の隣に建設する計画であることから、住民から建設差し止めを求めて提訴されています。令和5年度末の完成を目指していますが、裁判は続いており、先行きは不透明です。桶川市は自市の焼却施設をすでに閉鎖し外部に焼却処理を委託していることから、ごみ処理経費が著しく増加しています。



埼玉中部資源循環組合新ごみ処理施設整備基本計画から

新たなごみ処理施設の概要と3つの懸念

北本市の話に戻します。北本市が可燃ごみを焼却する新たな施設は、鴻巣市・行田市とともに建設します。平成26年に北本市が彩北広域清掃組合に加入し、鴻巣行田北本環境資源組合となり、新施設建設の検討が始まりました。平成27年に建設地を鴻巣市郷地・安養寺地区とすることが決定し、平成28年には一般廃棄物処理基本計画を策定、平成29年に施設整備基本計画を策定しました。

建設予定地	鴻巣市郷地・安養寺地区
概算事業費	
・建設費	約248億円 ※
・運営費	約170億円(20年間)
稼働開始	令和6年12月(予定)
温浴施設建設費	約11億円
用地取得費	未定
建設費負担割合	人口割(北本市は約1/4)

※このうち約77億円は国の交付金

◆ 懸念1 思惑に揺れる建設予定地

現在の建設予定地は **53箇所**の候補地から最高得点を得た地点として選定されたものですが、事務局は僅差で次点だった地点を削除し **52箇所**の中から選定したと議会などで説明してきました。事務局は隠ぺいについて、混乱を避けて事業進捗を円滑に図るために行ったと説明しています。次点との優劣を明快に説明することができなかつたのでしょうか。

予定地が最初から決まっていた(現在の予定地でないと困る人がいた)のではないかという疑念が残りますが、多くの組合議員は事務局の説明で納得したようで、これ以上の調査は不要と判断されました。

また、今年4月の行田市長選挙では、新しいごみ処理施設を行田市小針(行田市の既存のごみ処理施設がある場所)に建設することを公約にした石井直彦さんが当選しました。今後、建設地の見直しを強く求めてくるのではないかと思います。

ウェルビーイングとは…

幸福、健康、安寧な状態をいいます。北本で暮らす人びとが、身体的にも、精神的にも、社会的にもすべてが満たされた状態(well-being)で過ごせるようにと願って通信に名付けました。

市政についてもっと詳しく知りたい方は
桜井すぐる公式ホームページもご覧ください。

これまで建設地を鴻巣市とする3市の基本合意に基づいて建設予定地が決定され、手続きが進められてきました。今から建設地を変更することは極めて困難ですが、行田市が具体的な提案をしてきた場合には、比較検討をせざるを得ないでしょう。

◆ 懸念2 余熱利用施設(温浴施設)の整備

新ごみ処理施設の建設に当たっては、周辺住民の理解と構成市民の福祉の増進を図る目的で余熱利用施設を整備することが決まっています。地元からは、ぜひ温浴施設を造って欲しいという要望が組合に寄せられています。

余熱利用施設の建設費は現在の計画では**約11億円**ですが、キッズプールやジャグジーも欲しいという意見があり、建設費がさらに膨らむ可能性があります。

建設予定地近くには県央みずほ斎場もあり地元対策の必要性は十分に理解できますが、過大な施設は造るべきではないと思います。適正な規模になるようしっかりと検討したいと思います。

◆ 懸念3 建設費248億円はさらに高騰？

平成29年2月に策定された施設整備基本計画では新ごみ処理施設建設の概算事業費が**約248億円**となっています(余熱利用施設や用地費は含まず)。この施設の処理能力は日量249トです。平成28年に完成した東埼玉資源環境組合第二工場焼却施設は日量297トで建設工事費が約138億円でしたが、**資材不足などで建設費が高騰傾向**にあるようです。

概算事業費はプラントメーカーへのアンケート調査によるもので、あくまで目安です。資材不足に加え**人件費も上昇傾向**にあり、建設費がさらに膨らむ可能性もあります。適切な価格で契約できるようしっかりとチェックしたいと思います。

私たちの会派・市民の力からは、私と工藤議員が鴻巣行田北本環境資源組合の議員に選出されました。3人の会派から2人が選ばれるのは異例です。力を合わせてしっかりと重責を果たしてまいります。

発行者 桜井 卓(会派：市民の力)
住 所 北本市高尾1-166-6 Tel.090-9389-3572
E-Mail sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com

■プロフィール

1973年生まれ(46歳)。早稲田大学教育学部卒業。1995年から2019年まで埼玉県職員として財政課、税務課など24年間勤務。家族(妻と娘3人)。2019年5月から北本市議会議員(1期目)。